

心のつながりが強くなりました

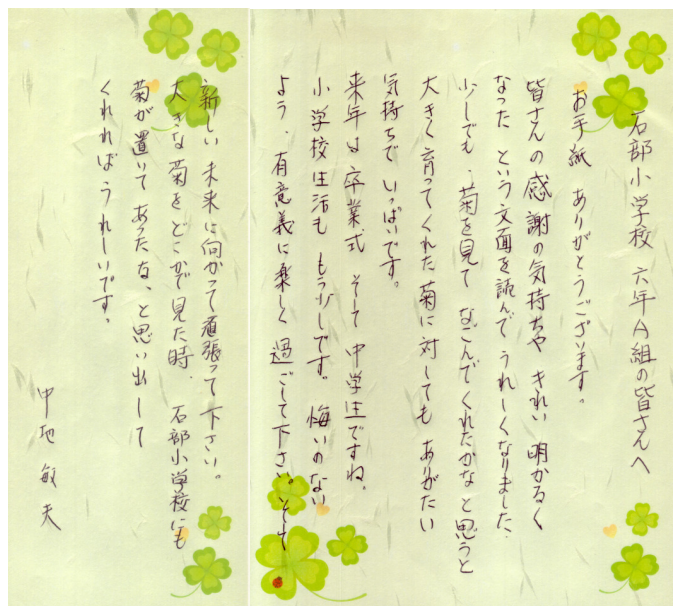
学校応援団で様々にお世話になっている方々に、お礼の手紙を書く活動を重視していましたら、たくさんの方から返事をいただくようになりました。

右下は、菊作りボランティア中地敏夫さんからの手紙の一部。中地さんは、1年生から6年生までそれぞれの学年の子どもに、使う言葉や漢字を変えて手紙をくださいました。



左は、本校の卒業生で吹田市にお住まいの山田(旧姓:大鳥)淑子さんから送っていただいた絵本。「環境を良くするための絵本ですが、とても感動しましたのでお送りさせていただきます。図書室

にお納めくだされば幸いです。小さな後輩たちの未来のために、よろしく願い致します。」とのお手紙を添えてくださいました。



魚の食べ方を教えてくださった伊地知世理子さんと若林綾子さんからは、校長や本校職員宛に感謝の手紙をいただきました。甲賀高分子株式会社様は、子どもたちがお送りした手紙や学習の感想を、冊子にまとめて届けてくださいました。(左写真)

子どもたちと地域の方々とをつなぐのも学校の大事な仕事です。心のつながりができつつあることをありがたく思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ご協力ありがとうございます 12月号で、高校生以上の

大人の方に「自転車の左側通行」をお願いしましたら、随分たくさんの方が協力してくださいます。本当にありがとうございます。今後とも、子どもの安全のためどうぞよろしくお願い



ありがとうございます 石部教育後援会

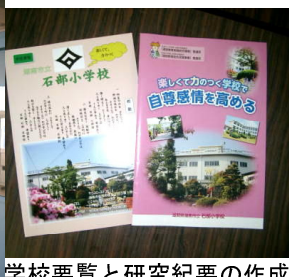


校報17号・29号に続き、本年度の教育後援会費を使わせていただくことで充実した教育内容を、感謝の気持ちを込めて報告します。

◆道徳教育研究発表大会の実施



廊下から参観できるよう壁を除去



学校要覧と研究紀要の作成

◆子どもを守る環境整備



放送設備の充実

◆学習支援の充実



図書ボラ材料費

◆学校環境の整備



草刈り機の歯、燃料代



ホースフックの取り付け



環境ボラ軍手

◆広報活動の充実



校報いしべっ子の用紙・インク

<石部教育後援会>

石部小学校から石部南小学校が分離開校した昭和55年に、時の自治会区長会で議論を重ねられ、石部町の小中学生を育成するため、義務的経費(公費)でまかなえない部分を援助するために発足しました。

中学校も援助対象に含んでいるのが石部教育後援会の特徴で、湖南省となつてからは、幼稚園や青少年育成団体も援助対象に広げられています。

石部町時代は、1世帯：月200円の会費で、小中学校の芸術鑑賞費やクラブ活動費はここから支出されていました。湖南省となつてからは、旧甲西町の各教育後援会と足並みをそろえるために、1世帯：月100円の会費に改められ、現在に至っています。

会費徴収を各自治会で行っていることから、自治会未加入の家庭からは会費納入がないことが常に課題となっており、学校応援団の会議においても、解決方法が話題となっています。自治会未加入の方で教育後援会費にご協力いただける方は、学校応援団事務局に届けていただいても結構です。(金額は問いません。)



宮島 悠輔さん



仁井 利輝さん

紹介します 学生ボランティアさん

すでに二学期から(宮島さんは一学期から)来てくださっています。教員を目指している学生の方は、どんどん参加してください。